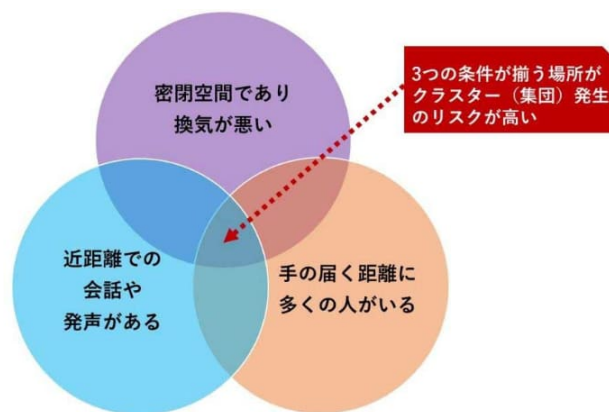


先日、摘み取り園におけるコロナウイルス感染予防対策についてのお問い合わせをいただきました件、まだ少数ではございますが集まりました意見をお知らせいたします。



現在報道関係でもとりあげられておりますウイルス感染の注意すべき環境は上記の環境下にあります。それを踏まえて以下、4人の方からのご意見です。

① 岩手県（りんご園とブルーベリー園摘み取りを経営）

岩手県では現在（問い合わせ現在です）感染者が出ていないので、それほど開園やその他危惧している事はありません。通常どおりの衛生管理を行っており、摘み取り園の実施についても例年通りの予定ですが、今後何かあれば対策を考えます。

② 栃木県

今後の感染の拡大はある程度予測できるので、摘み取り園の来場者数には響いてくるかもしれないと思っています。当園では鉢物を出荷しているので、今年はそちらに期待し「お家でブルーベリー狩り」を推進できたら！と。今回のウイルス感染の問題にかかわらず摘み取り園の運営は気候によってもかなり左右されるので、常にいろいろなケースに対応できるように考えています。

③ 千葉県

園の敷地が広く町中からは比較的離れているのでさほど心配はしていない。しかし、近年の夏の暑さによる来場者数の減少が顕著であるので、そちらも含めこれから対策をしていかなければと思っている。

#### ④ 山梨県

上記の図にあるような環境において感染拡大が予測されるので、摘み取り園については、屋外であること＝密閉された室内ではない、集団といっても家族単位程度であること、濃厚接触という点についてもスーパー等で野菜を手にとつて買うのと同様ではないか？と考えられるので、通年どおりの開園を予定している。ただし、このような状況であるので入り口でのアルコール消毒や入場前のアンケート（記名式を考えている）等の実施、できればマスク着用をお願いするなどを考えている。

事務局内でも検討しておりますが、まず「いちご狩り」の現状をネットで検索しましたが、かなり予約キャンセルが多いようです。開園を断念する園もあります。しかし、いちご狩りについてはおおむねハウスの室内、ある程度密閉された空間にありますので、ブルーベリー園とは少し違うのかなあという感じもします。

摘み取り園では、自覚症状のない感染者が来場されていた場合に一番危惧する状況は試食の際かと思います。例えば試食は別のところで準備し園内は摘み取りだけ行おうとかそういった工夫も必要になってくるかもしれません。

また、ある程度の広さを持った園であれば、区画を区切って日を変えて案内する、グループごとに分けて園に入ってもらい等も予防対策に有効なのかと思います。

いずれにせよ、園としてできる限りの対策をとっている事をアピールして、今年もおいしいブルーベリーをたくさんの人に味わって頂けたらよいですね。早く収束し安心して園の運営ができることを心からお祈りしています。

今後もいろいろな意見が出てくるとお思いますので、新しい対策や意見が出てきましたらお耳にお入れできるように致します。